

トヨタ、アリストをフルモデルチェンジ — 新時代ハイパフォーマンスセダンへ —

トヨタ自動車(株)は、アリストをフルモデルチェンジし、本日より全国のトヨタオート店ならびにトヨタビスタ店を通じて一斉に発売した。

アリストは、1991年に誕生し、その卓越した動力性能と流麗なスタイルにより、“走りを楽しめる高級セダン”として新しいアイデンティティを確立した。

新型車は、VSC^{*1}、ARS^{*2}、ブレーキアシストなど最新の安全技術に裏付けられたハイパフォーマンスを追求することにより、その走りの楽しさを一段と進化させ、快適で先進的なパッケージ、存在感のあるスタイルとあいまって、21世紀を見据えたセダン イノベーションを実現している。

1. エキサイティングなドライブフィーリング

- BEAMS^{*3}エンジン (3.0ℓ VVT-i ターボ^{*4}、3.0ℓ VVT-i) 搭載による、クラス世界トップレベルの動力性能
- 変速応答性の高いオートマチックトランスマッisionと、ステアリングに設けたスイッチでシフト操作が可能な新開発のステアマチック(ターボ車)による、スポーティ走行
- 新設計のサスペンションと高剛性ボディ、バランスの良い前後重量配分からなる新プラットフォームが生み出す卓越した操縦性・走行安定性
- フロントショートオーバーハング&ビッグキャビンのモノフォルムシルエットにより、21世紀の新しいトレンドを提示するスタイル
- 全長を115mm短縮しながら群を抜く広い室内空間とトランクスペースを実現した、イノベティブなスポーツセダンパッケージ
- 加速感を演出する快適なエンジンサウンドとエキサイティングなJBLのオーディオサウンド

2. 最新技術を結集したセーフティ

- 画期的な車両安定性制御システムVSC、緊急時の制動をサポートするブレーキアシスト、TRC(トラクションコントロール)およびABSを全車に標準装備
- アクティブな後輪操舵により、走行環境変化に対する車両安定性を高めたARSをターボ車に標準装備
- 衝突安全ボディGOA^{*5}および将来の米国の頭部衝撃緩和基準をクリアしたインテリアを採用
- プリテンショナー&フォースリミッター付シートベルト、デュアルSRS^{*6}エアバッグ、運転席・助手席SRSサイドエアバッグを全車に標準装備

3. 多面的なエコロジーへの配慮

- 燃費の大幅な向上はもとより、リサイクル性に優れたトヨタスーパーオレフィンポリマーの内外装への積極的採用など、省エネルギー、省資源を多面的に推進

* 1 VSC : Vehicle Stability Control (車両安定性制御システム)

* 2 ARS : Active Rear Steer (アクティブ後輪操舵システム)

* 3 BEAMS : Breakthrough Engine with Advanced Mechanism System
(先進機構を備えた画期的エンジン)

* 4 VVT-i : Variable Valve Timing-intelligent (連続可変バルブタイミング機構)

* 5 GOA : Global Outstanding Assessment (世界トップレベルの安全性評価)

* 6 SRS : Supplemental Restraint System (乗員保護補助装置)



アリスト V300 VERTEX* EDITION [E-JZS161-BEPVZ (V)]

* VERTEX : 英語で“頂点”的意味

1. エキサイティングなドライブフィーリング

(1) クラス世界トップレベルの動力性能

① B E A M S 2 J Z - G T E エンジン (3.0ℓ V V T - i ターボ)

- V V T - i の採用などにより、1600回転で 40kg・m を超える低速トルクを発生させ、俊敏なレスポンスを実現
また、ETCS-i*の採用により、アクセル開度に対するエンジン出力を制御し、胸のすく加速感を演出する一方、良好なアクセルコントロール性を確保
* ETCS-i : Electronic Throttle Control System-intelligent (電子制御スロットル)

② B E A M S 2 J Z - G E エンジン (3.0ℓ V V T - i)

- V V T - i 、ステンレス製ロングデュアルエキゾーストマニホールド、ロングデュアル排気管、排気抵抗の小さい低背圧マフラーの採用などにより、低速から中速までトルクを約 1 割向上 (従来型比)
また、ETCS-i の採用により、加速感を演出するとともに良好なアクセルコントロール性を確保

③ オートマチックトランスマッision

- 電子制御フレックスロックアップ付 4 速オートマチックトランスマッision (ECT-iE) と ETCS-i との統合制御により、滑らかで応答性の良い変速特性とし、特にターボ車は、ステアリングから手を離さずにステアリングのスイッチでシフト操作できるステアマチックを採用し、よりスポーティなドライビングを実現
- 変速点を最新の制御理論であるニューラルネットワークで制御する AI* - SHIFT を採用し、ドライバーの意思や道路状況に呼応したシフトパターンを実現
- シフトレバーは、スポーティなゲート式を採用
* AI : Artificial Intelligence (人工知能)

④ V V T - i エンジンとロックアップクラッチの作動領域を低速域まで拡大したオートマチックトランスマッisionの組み合わせにより、10・15モード走行燃費を従来型に比べ大幅に向上

	排気量 (cc)	最高出力 (PS/rpm)	最大トルク (kg・m/rpm)	10・15モード走行燃費 (km/ℓ)	
				従来型からの向上率	
2 JZ-GTE	2,997	280/5,600	46.0/3,600	8.8	約14%
2 JZ-GE	2,997	230/6,000	31.0/4,000	9.4	約18%

(2) 卓越した操縦性・走行安定性

- ① フロントダブルウィッシュボーンサスペンションをファインチューニングし、より素直なハンドリングを実現するとともに、リヤダブルウィッシュボーンサスペンションの新設計により、ロール時の重心高変化の少ない、一段と安定した走行とフラットで快適な乗り心地を実現
- ② ボデー骨格およびサスペンション取り付け部の結合を強化した新プラットフォームによりボデー剛性を飛躍的に向上
- ③ 新開発のプラットフォームとエンジン、バッテリーの配置の工夫により、ヨー慣性モーメントが少なくバランスの良い前後重量配分（53:47、2JZ-GTEエンジン搭載車）を実現し、意のままに操れるハンドリングを追求
- ④ 新開発の車速感応流量制御式パワーステアリングにより、タイヤのグリップ状態がよりダイレクトに伝わるスポーティな操舵フィーリングを確保

(3) イノベーティブなスポーツセダンパッケージ

- ① 新開発のプラットフォームにより、卓越した操縦性・走行安定性を確保すると同時に、全長を115mm短縮しながらホイールベースを延長し、全高も高くすることで、広いレッグスペースと充分なヘッドクリアランスを実現
- ② また、フューエルタンクをリヤシートの下に移し、トランク容量を拡大

[車両寸法等]	単位：mm、() 従来型との差	
全 長	4,805	(-115)
全 幅	1,800	(+ 5)
全 高	1,435	(+ 15)
ホイールベース	2,800	(+ 20)
オーバーハング	フロント リヤ	835 (- 95) 1,170 (- 40)
ヘッドクリアランス	フロント席 リヤ左右席	920 (+ 10) 920 (+ 20)
アクセルペダルからリヤ席 ヒップポイントまでの距離		1,795 (+ 25)
トランク容量 (ℓ) [VDA法]		515 (+ 105)

(4) エクステリア&インテリアデザイン

- ① フロントショートオーバーハング＆ビッグキャビンのモノフォルムシルエット、硬質でメリハリのある面処理により“かたまり感”を表現し、21世紀の新しい高級スポーツセダンのトレンドを提示
- ② ドライバーを中心良くつつむ、コクピットスタイルのインストルメントパネル、文字板面を発光させ、文字、目盛、指針を影で見せる新しい意匠の3眼式オプティトロンメーター（トリプルシルエットメーター）、L字型造形のフロントドアトリムなどにより、走りの楽しさを演出
- ③ 色調を外板色とコーディネイトしたスポーティ感あるシート表皮を採用（VERTEX EDITION）

(5) 快適な音づくり

- ① エンジンの吸排気系のチューニングにより、加速感を演出する気持ちの良いエンジンサウンドを創出
- ② 風切り音が出にくい位置へのドア見切り部の変更、フロントウインドウからルーフへスムーズに風を流すモール形状、風の流れを改善するドアミラー形状により、高速時の風切り音を低減するとともに、パネルの共振を抑えるフロア形状とし、快適な音づくりを追求

(6) JBLのオーディオサウンド

- ①エキサイティングな音場を創出するJBLの8スピーカーとパワーアンプを備えたアリスト プレミアムサウンドシステムを標準装備（除くS300）
- ②音質に優れたデジタルアンプを採用するとともに、走行時の騒音量に応じて自動的に音量をコントロールするオートサウンドレベルライザー等を付加（除くS300）

(7) ITS^{*1}対応のエレクトロマルチビジョン

- ①ワイドビジョンTV放送の受信が可能な7インチワイドディスプレイ、2画面表示／8方向音声案内のGPSボイスナビゲーション^{*2}、FM文字多重放送対応、VICS受信機器接続対応のエレクトロマルチビジョンをオプション設定
- ②トヨタ独自の情報センターからデジタル携帯電話回線を介して、ニュース、気象情報、各種施設案内など安全・快適な運転に役立つ情報がオンデマンド・リアルタイムで受信可能な情報通信システムにも対応（本年11月サービス開始予定）

*1 ITS: Intelligent Transport Systems（次世代の道路交通システム）

*2 FM多重放送を利用し位置精度を高める

D-GPS (Differential-Global Positioning System) に対応

2. 最新技術を結集したセーフティ

(1) アクティブセーフティ

- ①障害物回避のための急激なハンドル操作時や滑りやすい路面での旋回時の横滑りを抑える、画期的な車両安定性制御システムVSCを全車に標準装備
- ②新開発のハイドロブースター、大容量のディスクブレーキ、ABSを全車に標準装備
- ③ブレーキペダルを踏み込む速度と踏み込む量から、コンピューターがドライバーの緊急制動の意思をくみ取り、制動力を高めるブレーキアシストを全車に標準装備
- ④滑りやすい路面での発進加速時に、タイヤの空転を抑え駆動力を確保するTRC（トラクションコントロール）を全車に標準装備
- ⑤最先端の制御理論に基づき後輪をアクティブに操舵することで、横風などの外乱に対する安定性確保に加え、積載など車両状態の変化に対しても優れた操舵応答性と走行安定性を確保するARSをターボ車に標準装備
- ⑥ハロゲンランプの2倍強の光量、伸びと広がりのある配光により、視認性を高めるディスチャージヘッドライトを標準装備（除くS300）
このディスチャージヘッドライトには、車両の姿勢変化にかかわらず、照射軸を一定に保つオートレベリングシステムを採用
- ⑦鏡面面積を23%拡大するとともに、短時間で雨滴や霜を取り除くヒーター付のドアミラーを全車に標準装備
- ⑧ワンタッチ式パワーウィンドウ（全席に標準装備）、ムーンルーフ（オプション）は、挟み込み防止機能を付加

(2) パッシブセーフティ

- ①衝撃吸収ボディーと高強度キャビンからなるクラス世界トップレベルの衝突安全ボディGOAを採用
- ②ピラーやルーフサイドレールの内装材に衝撃を吸収するリブ等を内蔵することにより、将来の米国の頭部衝撃緩和基準（'98年9月から米国にて順次適用開始）をクリアしたインテリアを採用
- ③デュアルSRSエアバッグ、運転席・助手席SRSサイドエアバッグを全車に標準装備
- ④リヤ中央席を含む全席にヘッドレストとELR付3点式シートベルトを全車に標準装備
運転席・助手席のシートベルトは、前面衝突時にベルトを瞬時に巻き込むことで、乗員拘束性能を高め、その後ベルトにかかる荷重が規定値に達した場合、その規定値を維持する構造によりエアバッグとあいまって胸部への衝撃を緩和するプリテンショナー＆フォースリミッター付、さらにリヤ3席のシートベルトは、チャイルドシート固定機構付
- ⑤衝撃感知ドアロック解除システム付のオートドアロックを全車に標準装備

3. 多面的なエコロジーへの配慮

- (1)高効率なBEAMSエンジンとフレックスロックアップ付オートマチックトランスミッションの採用により、燃費を大幅に向上し、省エネルギーを推進
- (2)リサイクル性に優れたトヨタスープーオレフィンポリマーをバンパー、サイドプロテクションモール、ロッカーモール、インストルメントパネルの構造部品など内外装へ積極的に採用

【販売概要】

1. 販 売 店 全国のトヨタオート店、トヨタビ스타店
2. 月販目標台数 1,500台
3. 店頭発表会 9月6日(土)、7日(日)

【メーカー希望小売価格】

(消費税は含まず、単位：千円)

	エンジン	トランスミッション	東京	名古屋	大阪
S 3 0 0 VERTEX EDITION	2JZ-G E (3.0ℓ VVT-i)	ECT-i E	3,560 3,790	3,555 3,785	3,560 3,790
V 3 0 0 VERTEX EDITION	2JZ-GTE (3.0ℓ VVT-i ターボ)	ECT-i E ステアマチック付	4,360 4,490	4,355 4,485	4,360 4,490

◎掲載写真

ECT-iE：電子制御フレックスロックアップ付4速オートマチック（インテリジェント）

【トヨタ インターネット ホームページ】

<http://www.aristoweb.com/>

以 上